

Sep. 1, 2020 Copyright 2020 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
 本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

△の数	訂正記事	担当	検図	年月日	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△					△				
△					△				
適用規格									
定 格	電 圧	150V AC (DC)			電 流	1 A			
	使用温度範囲	-35℃ ~ +85℃ (注1)			保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃ (注3)			
	使用湿度範囲	20% ~ 80% (注2)			保存湿度範囲	40% ~ 70% (注3)			
性 能									
	項 目	試 験 方 法			規 格			QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。			○	○
	表 示	目視にて確認する。						○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。			30 mΩ以下			○	-
	低電圧、低電流下の接触抵抗	20 mV 以下、1 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。			30 mΩ以下			○	-
	絶 縁 抵 抗	DC 100 Vで測定する。			500 MΩ以上			○	-
	耐 電 圧	AC 500 Vの電圧を1分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	-
機 械 的 性 能	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。			① 接触抵抗: 30 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	耐 振 性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 m/s^2 で 3 方向 各 2 時間試験する。			① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: 1 mΩ以下 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s^2 , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。			① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: 1 mΩ以下 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2 °C, 湿度 90 ~ 95 %中に 96 時間放置する。			① 接触抵抗: 30 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	温度サイクル	温度 -55 → +5~35 → +85 → +5~35 °C 時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15 分 を 5 サイクル試験する。			① 接触抵抗: 30 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	-
	半田耐熱性	【リフローの場合】 《リフロー部》MAX 250°C 10秒以内 220°C以上 70秒以内 《予熱部》150~160°C 60~120秒 リフロー炉に2回通し、常温常湿中に 1時間放置後、測定する。 【手半田の場合】 半田ごてで350±5°C、5±1秒の条件にて 半田付けを行う。但し端子に力を加えないこと。			外観の変形及び端子などの 著しいガタがないこと。			○	-
	半田付け性	半田温度 235±5 °C, 浸せき時間 3 秒間の半田付けを行う。			半田浸せき面の95%以上が 新しい半田でぬれていること。			○	-
備考				製 図	担 当	検 図	承 認	出 図	
(注1) 通電による温度上昇を含む。 (注2) 結露のないこと。 (注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温度範囲を適用。 試験規格の記載のない試験方法は JIS C 5402を適用している。									
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目									
HS		ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.			製品規格表			製品名 DF14H-20P-1.25H(56)	
旧CL	図番	製品コード					1		
CL	SLC4-161459-03	CL538-0167-0-56					1		

技書規231-1



TO